

総合教育センターだより

NO.107

平成25年3月発行

山梨県総合教育センター

平成25年度に向けて！

総合教育センターは今

所長 深沢 信吾

総合教育センターでは本年度、「発信するセンター」・「つながるセンター」・「つなげるセンター」を目標に、新機軸を含んだいくつかの取組みを行ってきました。ホームページやメールマガジンでの情報発信、学校へ出向いての研修の実施、また学校を取り巻く新しい課題に対応した研究の開発や相談支援の充実、学校や教育をめぐる社会的視座を獲得するための一助となるような特別講演の開催等、学校との「つながり」や他の教育関係者・団体と学校とを「つなげる」機能の拡充に力を入れてきました。1月に実施された研究発表大会は、お陰様で延べ1,000人を超える参加者を得て、盛大な大会とすることができました。大会で発表された研究内容について、各学校で大いに御検討いただき、新年度の学校運営や授業実践、研究計画の立案等に役立てていただければ幸いです。

今、学校は大きな岐路に立っています。様々な学校問題が、日本社会に生起する幾つかの社会問題と重なり合いながら学校に迫ってきています。国民の間に渦巻く「学校不信」とも言うべき感情の波が、かつてのそして今も理想とする平穏で落ち着いた学校の姿に揺らぎをもたらしています。このような状況や危機への認識を深め、学校での教職員のさらなる協働体制の確立が急がれているわけですが、それに応えるべく、先進的な知識や情報の提供、参加者の満足度を高める研修の実施や相談支援の拡充が、今、総合教育センターに求められています。平成25年度に向けて、学校支援の実をさらに挙げるような取組みを準備していこうと決意を新たにしています。



研究発表大会から見えてきたもの

研究開発部

平成24年度の研究発表大会に参加して下さった県内外各学校及び関係教育機関の先生方に心より感謝申し上げます。

午前中の東日本大震災における「釜石の奇跡」を生み出した群馬大学片田敏孝教授の特別講演や基調提案を受けて、「学校教育を支援する実践的研究」のテーマの下、研修主事によるグループ研究、こすもす教室研究、一般留学生研究と様々なアプローチから、学校現場が必要とし、学校現場に具体的に還元できる研究成果の構築を目指してまいりました。「総合教育センターが現場に寄り添うとする姿勢がよく現れていた大会だった。センターの役割を十分に感じた一日だった」と参加者からお褒めの言葉もいただきました。



片田敏孝教授の特別講演

この研究発表大会から見えてきたものの一つは、センターが行う「調査研究」の意義です。喫緊の課題である「防災教育」「理数教育」「言語活動の充実」「情報教育」等に関わる調査研究が、学校での課題を洗い出し、先進事例を分析参考にして、これらの教育を次年度以降の教育課程にどう組み入れていくかの指針を示す前提となり得ることで。

もう一つ見えてきたことは、教育相談の「復唱」の推進や特別支援教育における「自立活動」のためのガイドブックの作成、またICT教材の具体的作成・収集、教育課程実施状況調査の分析に基づく「改善プラン」の提示など、具体的な「切り口」を設定し研究を実証的に進めていくことが、学校教育の参考になるきっかけとなり得ることで。

次年度以降も、「研究のための研究」に陥ることなく、参加して下さった皆様方の御意見を参考にしながら、学校教育を実践的に支援するための研究に鋭意取り組んでいきたいと思っております。

教育指導部

「学習指導要領の改訂に伴う今日的な課題を踏まえ、教職員の資質能力の向上と意識改革を図り、児童生徒に『生きる力』を育み、学校教育の振興と充実に資するために、教育経営・経年・教科等・教育課題・教育相談・相談支援・特別支援教育・情報教育・外部共催の各研修会の企画・運営等を統括するとともに研修会の質の向上に努める」これは、本センターの運営方針です。言うまでもなく我々教職員は、最新の情報を持ち、喫緊の教育課題を正しく捉え、常に指導法の改善に取り組み、児童生徒のためによりよい授業作りなどを目指していかなければなりません。

本年度は、様々な状況を鑑み、昨年度までの研修会の精選に取り組み、3割減、1割増を目指し、精選を図ることができました。また研修方法の改善として「体験・参加型研修」の積極的導入をテーマとして取り組み、特に教科指導や教育課題等の研修について教員の資質能力向上の一助となるよう企図しました。その結果、本センターで用意した144の研修を、延べ13,000人余りが受講しました。

平成25年度の研修会は、これまで以上に総合教育センターの機能を発揮できるよう、本年度の研修会の更なる精選と充実に取り組み、141研修にまで精選することとなりました。また、本年度初めての開催であった中堅教員研修会等についても検証を重ね、更なる充実を図っていきたいと考えています。これからも、センターHPに掲載されている研修会実施要項の閲覧がしやすいように工夫をし、多くの先生方が総合教育センターの研修会を活用して自己研さんに努めていただけるよう努力を続けていきたいと思います。



新校長研修会



新教務主任研修会

研究開発部

本センターは県内教育の研究・研修機関の中核として、教職員の資質能力の向上を目指す研修会の企画・運営とともに、学校における教育活動の改善や発展に不可欠な校内研究の支援、近年の様々な教育課題の解決に向けた調査・研究及び学習指導法や指導計画の開発等の研究を行っています。研究開発部はこのセンター研究の推進を担当する役割も担っています。

本年度はこれまでの研究方法をグループ研究中心に転換しました。これは各校種の教育活動に応じた指導方法の改善プランの研究や開発をより多くの主事の力を結集させて充実、深化させようという狙いからです。日々変動する今日の社会において、学校が直面する教育課題は重く、複雑なものであることから、グループ研究に転換することによって、本センターの特色である小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の全ての校種からなる所員構成を最大限に生かすことができます。

このような方針の下、複数年研究も取り入れて、本年度は9つのグループを編成し、教育課題研究、相談支援教育研究、情報教育研究、及び教育課程実施状況調査研究に取り組んで参りました。

これらの研究の成果は平成25年1月23日の研究発表大会で報告させていただきました。

また、本年6月の特別講演会では、東京大学大学院教授の本田由紀先生が社会構造の変化がもたらす今後の教育の在り方について、また研究発表大会当日には群馬大学教授の片田敏孝先生が「姿勢の防災教育」の必要性について講演していただき、これからの学校教育の在り方や方向性を示していただきました。来年度6月の特別講演会では、児童生徒の学ぶ力を引き出すカリキュラムについて、筑波大学教授の田中統治先生をお招きし、講演していただく予定です。今後も引き続き、教育研究活動の拠点及び情報の発信源として、研究の成果や情報の発信、校内研究の支援等を行い、県内学校教育の発展に尽力して参ります。



研究発表大会

情報教育部

～総合教育センターの情報資産の活用促進を目指して～

県内の学校では電子黒板や大型デジタルTV、プロジェクターなどのICT機器の整備が進んでおり、これらの機器を効果的に活用した教育実践例も報告されています。センターではこのような学校の実践事例やデジタル教材等を含め「教育の情報化」に関する資料をホームページに掲載するなど、先生方が自由にアクセスし活用できる環境を整備しています。

コンテンツデータベースとして登録されている情報資産は65,000件を数えます。教材・指導案等及びセンター研修主事による調査・研究の成果はデジタル化しセンターのホームページからいつでも参照できます。図書・文献及びソフトウェア類は、ホームページから一次情報を検索し、ライブラリで閲覧・体験できます。

また昨年1月からはセンターのメールマガジンを配信しています。センターや県教育委員会からの最新情報や県内外の教育に関する催しの情報、さらに学校現場で役立つ工夫などを連載しています。登録すると過去のメールマガジンも閲覧できます。

「教育の情報化」を目指す、子どもたちの情報活用能力の育成とICTを効果的に活用した「わかる授業」の実践のために、センターの情報資産や研修会を十分に活用してください。



センターホームページ
（「授業支援」のトップページ）

相談支援部

～児童生徒への支援や対応で困っていませんか？～

「登校を渋る」「学校へ来ると元気がない」「友だちや先生とうまく関われない」「感情をコントロールできない」「家から出ない」等々、気になる児童生徒はいませんか。相談支援部は、様々な課題を抱える幼児児童生徒の健やかな成長を願い、本人と保護者はもとより、学校と先生方を支援しています。以下の相談支援部各担当が、先生方のお手伝いをします。より効果的な支援ができるよう、私たちと一緒に考えましょう。どうぞ私たち相談支援部をお気軽にご活用ください。

【教育相談】

4名のスタッフで、いじめや不登校等の予防や解決を目指し、児童生徒、保護者及び先生方を対象とした面接相談や電話相談、学校に出向いての研修会を実施しています。また、いじめや不登校等の予防に視点をおき、学校現場の課題解決に生かせる研修・研究を行い学校に還元しています。



(ア)面接相談（平日9：00～17：00、☎055-263-3711 ＊予約制）

(イ)電話相談（365日24時間体制、電話相談員が対応、☎055-263-3711）



【特別支援教育】

4名のスタッフで、障害のある児童生徒の教育の充実を目指し、幼児児童生徒、保護者及び先生方を対象とした面接相談や電話相談、学校に出向いての研修会や訪問相談を実施しています。また、特別支援教育の現場に役立つ実践的な研修・研究を行い学校に還元しています。

(ア)面接相談、訪問相談（平日9：00～17：00、☎055-263-4606 ＊予約制）

(イ)電話相談（平日9：00～17：00、☎055-263-4606）

【適応指導教室（石和・葦崎・都留こすもす教室）】

県内3教室において、不登校児童生徒の心の居場所づくりを第一に考え、人間味のある温かい教室運営を基本に、自立に向けた適応指導や学習指導を行っています。また、保護者や教職員からの相談にも応じています。現在3教室合わせて90名の児童生徒が元気に通室しています。

(ア)石和こすもす教室

（スタッフ6名、石和町市部524、☎055-261-1271）

(イ)葦崎こすもす教室

（スタッフ5名、葦崎市若宮2-6-12、☎0551-22-1133）

(ウ)都留こすもす教室

（スタッフ4名、都留市田野倉1331-1、☎0554-45-1161）



プレイルーム



平成25年度 研修会申込手続について

平成25年度「研修会申込事務説明会」を次の日程で開催いたします。当日は、「新研究主任研修会(107)」の終了後、引き続き本説明会を行います。申込手続について新たに変更する内容がありますので、**各校の申込事務担当者の先生方は、必ず御参加**くださいようお願いいたします。このことについては、文書をメールで発送しますので御確認ください。



● 日時 4月9日(火) 14:30~16:40 (受付14:00~)

● 場所 山梨県総合教育センター大研修室

★ **新研究主任研修会(107)**は、同日 13:20~14:10 (受付13:00~) 第3研修室で実施されます。

《研修会申込手続に関する主な日程》

3月中旬 各校へ「研修会申込事務説明会の開催通知」の発送

4月 9日(火) 「研修会申込事務説明会」

4月12日(金) 早期実施研修会申込締切

5月 8日(水) 第一次受講申込締切(7月23日以前の研修会)

6月14日(金) 第二次受講申込締切(7月24日以降の研修会)

お知らせ

■各学校の研究会案内の掲載希望を受け付けています。御希望がありましたら、会の詳細が分かる文書(案内やリーフレットなど)を下記担当宛に開催日の前月初日までにお送りください。

※担当 研究開発部 直通fax: 055-262-8731
Eail: kenkyubu@kai.ed.jp

■センターメールマガジンを登録しましょう!

- ★総合教育センターや県教育委員会からの最新情報
 - ★県内外の公開研究発表会や教育に関する催しの情報
 - ★新着図書・資料の案内
 - ★学校現場で役立つ工夫などを連載
- 登録は当センターHP <http://www.ypec.ed.jp> から



編集発行 山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田 1456
電話 055-262-5571(代)
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 深沢 信吾
発行日 平成25年3月15日